

令和5年度認知症疾患医療センター第2回研修会 『精神科と認知症～BPSDを中心に～』の開催報告

【開催概要】

- (1)日 時 令和5年11月10日(金) 18:30~20:00
(2)開催方法 オンラインにて開催
(3)講 師 兵庫県立はりま姫路総合医療センター
認知症疾患医療センター 精神科長 木村 敦 先生
(4)参加者数 57 関係機関 113名

(関係機関の内訳)

開業医	8 関係機関	10 名
居宅介護支援事業所	14 関係機関	24 名
地域包括支援センター	8 関係機関	13 名
認知症疾患医療センター	3 関係機関	5 名
病院	17 関係機関	50 名
訪問看護ステーション	4 関係機関	7 名
薬局	2 関係機関	2 名
行政機関	1 関係機関	1 名
歯科医院	1 関係機関	1 名

(職種の内訳)

医師	7 名	看護師	28 名
認知症認定看護師	4 名	作業療法士	11 名
言語聴覚士	1 名	薬剤師	2 名
保健師	4 名	公認心理士	3 名
主任介護支援専門員	16 名	介護支援専門員	13 名
社会福祉士	5 名	精神保健福祉士	12 名
介護福祉士	1 名	認知症担当	1 名
歯科衛生士	1 名	事務	1 名
その他	3 名		

(5).本日の講演会についてのご意見、ご感想。

- ・認知症周辺症状の相談を受けた際、安直に薬物療法が頭をよぎっていましたが、最終手段と考えるということを改めて念頭におかねばと考えさせられました。
 - ・できるだけ薬物療法に頼らず治療を行いたいとの先生の思いに感銘を受けました。また薬の種類についての説明も非常にわかりやすかったです。しかし、病院では内服で安定し退院につながられたとしても、施設や地域でBPSDが再燃し、すぐに再入院するケースも少なくないと思います。環境の変化による病状の変化にどのように対応するかが、課題だと思っています。
 - ・第1選択は、療養環境及び患者の背景からアセスメントすることが大切であるという事。精神専門の看護師・医師不在の中日々の対応に苦慮している状況です。業務に流されるのではなく、患者を診る・看るような体制を構築したいと思います。困ったことは電話でご相談できるので助かっています。
 - ・「初診で先生が丁寧に本人の話を聞いてくださり、本人も家族も満足しました。」と、ご家族から感想をいただきました。
- 他にも沢山のご意見・ご感想を頂きありがとうございました。今後の研修会の参考にさせていただきます。